

西 刑務所に教えに行つて

— 持続可能な社会は基礎教育から

株式会社開倫塾 代表取締役社長

経済同友会幹事 林 明夫

南



開倫塾は、栃木県を中心に群馬県・茨城県に四四校舎を展開する創業三〇年目の小・中・高校生を対象とする二〇〇八年度ピーク時塾生数六六四名の学習塾です。そんな開倫塾の塾長である私に、昨年一月に栃木市教育長より、栃木刑務所に基礎的な教科教育の指導のために開倫塾から講師を派遣して欲しいかとの依頼がありました。私が学生時代に犯罪学や刑事政策を学んだことを教育長は覚えておられ、もしかしたら開倫塾で依頼を受けてくれるかも知れないと思われたようです。

私は、慶應義塾大学法学部法律学科で宮沢浩一先生のゼミ生として犯罪学と刑事政策を学び、いくつもの矯正施設を訪問し、「刑事政策への市民参加」を研究テーマにしておりました。女子刑務所では歴史ある栃木刑務所で、基礎的な教科教育のお手伝いをさせていただくことは、宮

北

沢浩一先生の下で学ばせていただいた者として、また法学徒として名譽なことを考え、即受諾いたしました。開倫塾は、「日本経営品質賞」の地方版である「栃木県経営品質賞」の知事賞を二〇〇二年度に受賞した企業ですので、社会との調和を大切な価値観として持ち、社会貢献活動の推進を行っております。刑務所への講師派遣も、その一つと考えました。

栃木刑務所での最初の打ち合わせで、刑務所長はとても受刑者の教育に熱心な方で、その情熱がひしひしと伝わってきました。また、教育担当の刑務官の方々の、受刑者の更生に対する熱い思いがよく理解できましたので、必ず一定の教育成果を出さなければと決意しました。

担当責任者に、塾長直轄の超ベテランの塾長室室長を任命。対象が二〇歳代から七〇歳代までの女性の受刑者と知り、指導者として開倫塾の

ベテラン講師を選任。一名の派遣要請でしたが、十分な教育成果を出すために二名派遣。二名の先生が慣れるまでの最初の半年は、担当責任者の塾長室室長も同行して指導に当たることが決めました。

このようにして、二〇〇八年二月より対象受刑者六名への毎週一回二時間三カ月コースの基礎学力養成講座がスタートし、一年が経ちました。ベテランとはいえ、刑務所での指導は初めての先生でしたので、事前の打ち合わせは毎回十分に行いました。また二人の先生方の負担をできるだけ少なくし、毎週確実に指導を行ってもらえるよう教材や教具の作成はすべて開倫塾本部の塾長室のスタッフが一人ひとりの学習進度に合わせて行いました。超ベテラン講師陣三名による、また、開倫塾塾長室事務スタッフの全面的な協力による「受刑者教育」が始まりました。

平仮名、片仮名の書き方や数の計算の仕方から、一人ひとりのレベルに合わせ指導は開始。三カ月の間に、社会に出てからの生活に困らないよう読み・書き、計算を指導。道路標識も指導。新聞や図書室の本が読めるように、手紙が書けるようになるまで頑張ろうを合言葉にしています。

教育が必要な受刑者もいますので、「羨」の前身である美しい立ち居振る舞い、敬語表現を含む言葉遣いについても積極的に指導。挨拶、お辞儀の仕方も教えています。

このような方法で三カ月ではあります但指導を終えると、刑務所と相談のうえ「三カ月コース修了証」を修了式で手渡します。私や塾長室室長が修了証を手渡し、「よく頑張りましたね」と励ましの声をかけると、目に涙をためる受刑者もいます。

文字が読めず、計算がよくできず、道路標識も十分わからず、手紙もよく書けないまま、一度罪を犯し刑務所から社会に出た人が、働きたいのある人間らしい仕事に就ける可能性は極めて少ない。働きがいのある人間らしい仕事に就けなければ、刑務所に戻る可能性は極めて高いと私は考えます。しかし十分な基礎教育を行うだけのスタッフは現代の刑務所にはいないようにも思えます。ただ世の中には、この状況をよく「理解」してもらえば受刑者の教育の担い手になつてもよいと考える人は山ほどいると考えます。持続可能な社会の形成の一環として、受刑者への基礎教育を社会総がかりで行うことを最後に提言させていただきます。